

ご卒業おめでとうございます



Contents



● 卒業生に贈る言葉	総長	学長
● 学園を去るにあたって		
● 平成28年度学長賞表彰		4
● 学長賞受賞者・学長奨励賞受賞団体のコメント		5
● 卒業生・修了生の皆さんへお知らせ		2
		8
		7
		6



卒業生に贈る言葉

ブツダ 覚者の

慈悲の心に学ぶ

総長 池田 魯参



身心を堅固に保ち、美事に学業を成就され、今日晴れて駒澤大学を卒業されることになった卒業生の皆さんに対し、教職員一同、心よりお祝い申し上げます。また、この日が来るのを心待ちにされ、長い間、陰に陽にご後援くださったご親族、関係者の皆さまにも、紙面をかりて改めてお慶び申し上げ、尽心の謝意を申し述べる次第です。

現今、世界情勢は混迷を極め、先が見えない時代の到来に人人は心を痛めています。直近のアメリカやヨーロッパ諸国で高まっている偏狭なナショナリズムは孤立・保護・排外主義を強め、叡智を集め営々と積み上げてきたこれまでの国際協調の足並は一顧だにされず、地球規模の構想下で持続可能な共存共栄の道を探ってきた努力は一蹴されようとしています。信頼に足る見通しのいい時代の空気に乏しく、人間の品性は劣化現象の一途をたどるかのようで、自分さえよければ、自分たちさえよければ他はどうなっても構わないとばかりに、人命を殺傷し欲望の限りを尽して、人類ははたしてどこへ向かおうとしているのでしょうか。

とまれ、現実はいかようであれ、私は本学を卒業される皆さんに何も心配していません。どんな局面になっても、他人事でなく自分自身の問題として引き受ける態度を学んでいるからです。そのたびごとに覚者の慈悲の心を行い学び続けることの一大事を思い起し、豊かに美しい人生を送られますよう祈願します。

「行学一如」の実践で、 創造力豊かな人生を

学長 廣瀬 良弘



卒業生の皆さん、おめでとうございます。皆さんの入学は、東日本大震災から丸2年後のことでした。その後も熊本地震や激甚災害が続き、2020年の東京五輪・パラリンピックも開催後の不況が懸念されます。また、英国のEU離脱、トランプ米大統領の誕生などグローバル社会の中での「垣根」にも不安が募ります。このように、皆さんを迎える社会は不透明です。しかし、その中で、皆さんは立派に社会貢献ができることを確信しています。それは禅の大学、駒澤大学に学んだからです。本学は曹洞宗開祖の道元禅師の教えに由来する「行学一如」を建学の理念としています。曹洞宗の禅僧たちは行脚の中で、地域開発にも貢献しています。例えば、安倍総理がプーチン大統領をもてなした山口県長門市の湯本温泉も大寧寺三世の定庵和尚が開発したものです。本学はそのバイタリティと地域貢献を引き継いでいます。

徳川家康が江戸城に入って間もない頃、城近くの曹洞宗吉祥寺の中に本学の前身の学林ができて425年、振袖火事により駒込へ移転、そして、明治15（1882）年、麻布日ヶ窪、今の六本木ヒルズのあたりに、近代的な大学となって135年、駒沢の地に移転して104年。歴史とロマンの大学です。

現在、禅は日本文化の原点として世界から注目されています。皆さんは、その禅の大学、駒澤大学の建学の理念「行学一如」のもとで学んできました。これからも「行」と「学」の反芻のなかで学び続け、変化する社会に対応し、創造力豊かな人生をお送りください。

一松語

「芸術は長く人生は短し」は古代の医学者ヒポクラテスの言葉として知られている。この言葉は芸術作品の永続性を意味するものだと説明されることもあるが、ここで「芸術」と訳されているのはギリシャ語では医学や建築などの技術を意味する「テクネー」であり、それに対応するラテン語「アルス」が英語では「アート」となる。言葉の成り立ちからすれば「アート」や「芸術」も技術の意味を含んではいるが、この格

言はむしろ「技術の修得には時間がかかるが人生は短い」とでも訳すべきものである◆ギリシャ哲学以来の徳倫理の伝統によれば「よく生きる」つまり幸福になるためには徳（アレテー）が必要であり、『ニコマコス倫理学』ではテクネーは思考にかかわる徳に分類されている。その大部分は教示を契機として人に備わるとされるが、勇気や節制などの人柄にかかわる徳は楽器の演奏のように習慣付けによって備わるとされる。よいフルート奏者になるためにはフルートを吹くしかなく、ひ

とたびよい音色が出せたとしても楽曲を安定して奏で続けるためにはうまずたゆまず練習するしかない◆もし仮によく生きるための技術というものがあるとすれば、その必要単位を取得して卒業するのは容易なことではなさそうである。その技術はまさに長く、その学習や練習は一生続くことになろうが、今後どのような分野で活躍されるのであれ、大学を卒業される皆さんにとってこれまでの学びがこれからの学びのひとつの礎石となることを願いたい。

輝け！ 駒澤オールスターズ

教育後援会—在学学生父母の会—



教育後援会会長
吉田 稔

ご卒業おめでとうございます。

私たち教育後援会は、在学学生の保護者の団体です。皆さんには、絶大な応援団である家族がいます。愛情表現はそれぞれですが、子どもたちのことはいつになっても可愛くて心配なものです。

社会人になっても、自立と同時に家族に甘えるところは甘えてもいいのです。同時に感謝と恩返しを忘れないことも大切です。

最高学府を卒業するにあたり、誇りをもって人生を歩みながら、探究心を磨き、各々が輝く駒澤オールスターズになってください。

常に前向きにいれば様々なことに対応できるようになります。何か迷いがあっても自分が気にするほど周囲は気にしていないものです。いい意味で肩の力を抜いて歩み進んでください。そうすることで、在学学生もより輝きます。皆さんの活躍を、期待しています。

「大道無門」 羽ばたけ人生

駒澤会—卒業生父母の会—



駒澤会会長
森屋 正治

皆さまご卒業おめでとうございます。

駒澤大学駒澤会は卒業生父母の会として、我が子を駒澤大学で学ばせていただいた御恩返しを思いを込め、永きにわたり一人でも多くの学生に奨学金を授与し、学業邁進をはかることを目的の一つとして活動しております。奨学生も発足以来1,100人を超えることができました。

皆さまは建学の精神である「行学一如」のもと学業を成就され、新たなステージへの幕開けの時が参りました。今まで自分なりの方向性を見つめて勉学に励まれ、いよいよその真価・実力を発揮できる時が来たのです。

何事にも自分なりの希望を掲げ、今を大事に考えていってください。皆さまには定まった門などありません。自由闊達に一步一步あゆみを進めて、満足のいく人生を送られ、駒澤大学の卒業生として各方面でご活躍されることを念じ、お祝いの言葉といたします。

駒澤大学同窓生として、 若い力に期待

同窓会—卒業生の会—



同窓会会長
萩野 虔一

卒業生の皆さま、ご卒業を祝し、駒澤大学同窓会を代表しご挨拶申し上げます。

同窓会は全国すべての都道府県に支部を擁し、支部総会・懇親会を開催し、地域同窓生の集いの場として長く活動を続け、近年は女性会員の活動参加にも力を入れています。また、在学学生への支援として、奨学金や学生食堂への「同窓会メニュー」の提供、卒業記念品、スポーツ・文化団体への表彰、支援を実施してきました。在学中に多くの同窓生の活躍を耳にし、テレビで見かけた方も多と思います。これからは皆さまも同窓会支部の一員として、大学やスポーツで活躍する在学学生を応援する立場でお力を発揮していただくことを切に願っています。

最後に、卒業を迎えるにあたり有形、無形の支援をしてこられたご父母の皆さま、この良き日を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

卒業される皆さんへ 学部長からのメッセージ

ご卒業おめでとうございます。

16年間の学校教育の集大成である大学4年間で本学で学ばれ、それぞれの専門分野で研鑽を積まれた今、いよいよ一人の社会人として旅立つ時が来ました。様々な出逢いを通してご自身の価値観を揺さ振られるような経験をされたでしょうか。

これからの社会は、ますますグローバル化が進むといわれます。世界人口を観てみると、皆さんが入学した当時は約71億人でした。今年、世界の人口は75億人を超えることとなります。昨年2016年、グローバル化という点で日本では2つのニュースが取り上げられました。1つは訪日外国人が2000万人を超えたこと。これは4年前と比較すると2倍増です。2つ目は、在日外国

人労働者の数が100万人を突破したことです。世界と比較すれば微増かもしれませんが、しかし着実に国を超える“人の移動”は増加しています。今後、皆さんは少なからず様々な価値観、即ち“多様性”と直面せざるを得ない時代を生きることになりそうです。

そこで忘れてはならないことは、一人ひとりが自立した個人として主体的に生きていくことです。成熟した多様な個性が確立していれば、個性と個性が合わさって新しい一歩が生まれます。今年の年頭、日産自動車のカルロス・ゴーン社長は、グローバル時代に大切なことは何かと問われた時、迷わず「アイデンティティーを失わずに多様性を受け入れることだ」と断言しました。社会がどのように変化しようと

も、自分自身を見失わず、自信をもって堂々と力強く前進してください。皆さんとまたこのキャンパスで再会できる日を楽しみにしています。

(グローバル・メディア・スタディーズ
学部長 各務 洋子)

仏教学部	金沢 篤
文学部	谷口 泰富
経済学部	姉齒 暁
法学部	高橋 洋城
経営学部	兼村 栄哲
医療健康科学部	瀬尾 育式
GMS学部	各務 洋子
総合教育研究部	池上 良正
法科大学院	對馬 直紀

学園を去るにあたって

卒業生からの

メッセー



仏教学と出会って

仏教学部禅学科4年 務臺 宗孝

私は本学図書館の蔵書の質と量こそが、母校である駒澤大学の最大の誇りであると実感している。私は、仏教学部禅学科に在籍し、曹洞宗学を中心として仏教の勉強を進めてきたが、その際には、多くの原典や辞書、論文、仏教関係の著書の閲覧が不可欠となる。そういう点からすると、曹洞宗を母体とする駒澤大学の図書館は、やはりとくに曹洞宗に関する仏教文献の質、量ともに非常に優れており、私は日々の大学生活においていつも助けられた。私が仏教の勉強が好きになったのも、その文献の膨大な量に感動したからであると言える。

大学で学んだ仏教をいかしながら、今度は永平寺で、道元禅師の精神を実践的に学んできたい。私に仏教を学ぶ楽しさと素晴らしさを教えてくれた、駒澤大学の諸教授と、両親に感謝の気持ちを伝えたい。



▲晴山先生の論文指導

充実した大学生活

文学部心理学科4年 幸路 悠也

入学したのがつい先日のことに思えるくらい、充実した4年間でした。

学業面では、目標としていた心理学検定特一級を取得することができました。また4年次には実習で病院や施設などを見学する機会が得られ、自分の目でプロが働く現場を見られたことで大変良い刺激を受けました。

所属サークルではオータムフェスティバル担当として、サークル主催では初めてとなる、記念講堂での声優トークショーの開催に漕ぎ着けることができました。ノウハウがなく、手探りの状態で大変でしたが、仲間たちと協力し、1つのイベントを作り上げるのはとても楽しく、良い経験となりました。

大学で過ごした4年間は心理学科の先生方、友人、家族など、多くの方々の支えがあったお陰で楽しく充実した日々を送ることができました。ありがとうございました。



出会いと成長の4年間

経済学部経済学科4年 知久 真

今振り返ると駒澤大学で過ごした4年間はあっという間でした。しかしその中に多くの出会いがあったからこそ、ここまで成長できたと感じます。

サークル活動では100人を超える会員をまとめあげる役員の1人として行事の企画・運営を担いました。数え切れない程の出会いや思い出があり、その一つひとつが私の成長に繋がっていると確信しています。またゼミナル活動では館健太郎先生のもとでミクロ経済学の視点から様々な業界研究などを行いました。刺激し合えるゼミ生の中でゼミ長を務めさせていただくことで大きく成長に繋がったと感じています。

この4年間での出会いはどれも私にとって宝物です。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



4年間を思い返して

法学部法律学科フレックスA 4年 堀 尚美



2013年、雨の中入学式に参加したことがつい最近のように感じます。

入学当初は授業についていけるのかなど不安だらけでしたが、すぐに杞憂に終わりました。法学部の授業はどれも興味深いものでしたが、私が重視していた要素である、海外とのつながりを持つ科目である国際法のゼミに加入し学習したことは、知的好奇心を刺激するだけでなく、自分自身の柔軟な考え方や国際問題へ興味関心を持つきっかけとなりました。また、大学生活の中では授業、ゼミ、アルバイト、サークルを通じて多くの縁に恵まれ、楽しい日々を送ることができました。

4月からはじまる社会人生活では目標を高く持ち、その実現のためさらに努力していきます。

最後になりましたが、支えてくれた先生方、友だち、家族には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



▲高浦セミナーハウスでのゼミ合宿

充実した4年間

経営学部経営学科4年 齋藤 紗也菜



駒澤大学での4年間は全く想像していなかったものでした。それまでの私は、勉強とは今後使うかわからないものという認識が何処かにありましたが、この4年間で自分の武器になるものに変りました。そう思えるようになったのは先生方が熱心なご指導をしてくださり、友人たちと支えあえたからです。

沢山の方と出会い、支えられ、様々な影響をうけました。ニュージーランドでの短期留学や卒業後の進路など、大きな決断のときそばにいてくれ、背中を押してくれたのが家族と大切な友人たちでした。沢山挑戦し上手く進めることができたのは、自分だけの力ではなく私を理解してくれる方々がいてくれたからです。このような環境で過ごせたことに感謝してもきれません。様々な経験のおかげで叶えたい夢ができ、その目標に向けて踏み出すことができます。ありがとうございました。



▲ニュージーランドでの短期留学にて

駒澤大学で過ごした4年間

医療健康科学部診療放射線技術科学科4年 岩村 知香

駒澤大学に入学して4年が経ちました。この4年間、数多くのレポートやテスト、臨床実習に国家試験と重みのあるハードルがたくさんありましたが、無事乗り越えることができたのは、多くの友人に恵まれたことによります。

大学生活において、自分の成長に最も影響を与えたのはゼミの存在です。2年生で第1種放射線取扱主任者という国家資格を取得することを目標に、1年生からゼミ活動に参加しました。試験勉強はとても難しく、何度も諦めそうになりましたが、一緒に頑張る仲間やたくさんの先輩方に支えられ合格できました。合格できたことだけでなく、理解を深めるためのステップを着実に進められたことは、一生の宝です。

最後になりましたが、4年間お世話になった先生方、そして支えてくれた家族にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。



▲ゼミ合宿で同期の仲間と鴨川シーワールドへ

「自分」を再認識した時間

グローバル・メディア・スタディーズ学部

グローバル・メディア学科4年

丸山 祥平



私にとっての大学生活は「自分」という人間がどのような人間であるかを再認識させられる時間でした。私の大学生活は決して華々しいものではなく、むしろ地味な生活でした。サークルには所属していなかったので授業が終わったらすぐ帰宅、これが日常でした。それに加えて、週3回程度で深夜2時までアルバイトといった普通の大学生活でした。

中学生のときの私は、部活では副部長、委員会では委員長を務め、在校生代表として卒業式で送辞を読むなど、いわゆる過去の栄光と呼べることをしてきました。しかし、それらは周囲の人間の存在があったが故に成し遂げられたもの、自分だけの力では成し遂げられなかったと、大学生活を通じ再認識しました。「自分」がどの程度の人間であるかを、社会に出る前に再認識できたと考えれば、私の大学生活は有意義なものでした。



▲2年生のときのOral Communicationにて

平成28年度 学長賞表彰

学長賞 個人9人 学長奨励賞 8団体 個人15人

学長賞および学長奨励賞は、学業・善行・研究・文化・体育などの分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に貢献をした者、または学生団体をたたえる賞です。

学長賞を受賞した卒業年次生は、3月の卒業式において表彰されます。

学長賞

■ 団体の部

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者または学生団体
受賞団体なし

■ 個人の部

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

▶ 〈博士後期課程〉最短期間の課程により学位を取得し研究業績が著しく優れ、研究科委員会の推薦がある者

- PHI THI DIEM HONG (商学専攻3)
- 新井 知大 (診療放射線学専攻3)

▶ 〈専門職学位課程〉総合GPAが3.0以上で、C評価及びF評価がない修了見込者であって研究科教授会の推薦がある者

- 植田 浩行 (法曹養成専攻3)

▶ 取得科目平均点が100点満点中90点以上でかつ全ての評価がA以上の者

- 池田 翔太 (歴史4)
- 千羽 敏史 (経済4)

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者又は学生団体

- 大沼 一基 (歴史3) 少林寺拳法部
第50回記念少林寺拳法全日本学生大会 単独有段の部 優勝
- 鬼倉 龍大 (経済4) ボクシング部
第7回世界大学ボクシング選手権大会 日本代表
第69回関東大学ボクシングリーグ戦 階級賞 (ミドル級)
- 沖島 輝 (経済3) ボクシング部
第1回アジア大学ボクシング選手権大会 日本代表・ライトウェルター級 優勝
- 第86回 全日本ボクシング選手権大会 ライトウェルター級 優勝
- 南出 仁 (商3) ボクシング部
第86回 全日本ボクシング選手権大会 バンタム級 準優勝

学長奨励賞

■ 団体の部

特に善行があつて他の模範となる者又は学生団体

▶ 他の模範となる善行があり、教授会の推薦のある者又は学生団体

- 茶道部・参禅部
平成26年より東日本大震災被災児童生徒の学習支援を目的に、年間複数回にわたり山形県において小中学生の学習支援を実施。その活動が広く認知され、新聞報道や福島県知事からの感謝文も付与。

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は団体

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者又は学生団体

- 経済学部4年 依田 夕季・佐藤 波莉
一般社団法人・建設コンサルタンツ協会・懸賞論文「佳作」(共同論文)
- 経済学部3年 小松 拓也・阿波賀 直人
公益財団法人・九州運輸振興センター 懸賞論文「優秀賞」(共同論文)

- 経営学部青木茂樹ゼミ
第8回販促会議企画コンペティション「協賛企業賞」
- 経営学部兼村栄哲ゼミ
第56回インナー大会「第6位」
- 空手道部
第60回全日本大学空手道選手権大会 女子団体形 第3位
- 卓球部
平成28年度 秋季関東学生卓球リーグ戦 2部リーグ 優勝・1部リーグ 昇格
- 野球サークル ファイヤーベアーズ
ゼビオカレッジベースボール 第34回 関東大学軟式野球同好会選手権大会 優勝



依田さん・佐藤さん



小松さん・阿波賀さん

■ 個人の部

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

▶ 研究論文、ゼミ等で優秀、又はユニークな研究業績をあげ、教授会の推薦のある者

- 大曾根 美穂 (商4)
五泉市食育推進調査 (受託研究「新潟県・大学生の力を活かした集落活性化事業」)
- 土屋 和樹 (商3)
平成28年度税理士試験2科目 (簿記論・財務諸表論) 同時合格
- 徳永 元子 (政治4)
法学部政治学科主催 論文コンクール 「最優秀賞」
- 富岡 周泰 (政治4)
法学部政治学科主催 論文コンクール 「優秀賞」
- 関口 広大 (経営3)
平成28年度税理士試験2科目 (簿記論・財務諸表論) 同時合格

特に善行があつて他の模範となる者又は学生団体

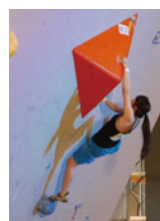
▶ 他の模範となる善行があり、教授会の推薦のある者

- 新井 優和 (経済4)
世田谷ボランティアセンターの運営、第4・5回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会の運営に関与し成功を収めた。

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者

- 中村 元美 (経営3)
「革新力14農業は、世の中をよくできるか」(日本経済新聞)においてアイデア掲載
- 廣瀬 光 (仏教1) 空手道部
空手1プレミアリーグ 沖縄2016 日本代表
- 工藤 寛也 (地理4) ボウリング部
第55回 関東学生ボウリング秋季個人リーグ戦 ミドルリーグ 優勝
- 中田 茉那 (歴史2)
第1回FISU世界大学スポーツクライミング選手権大会 女子リード種目・女子ボルダリング種目 日本代表
- 杉本 りさ (心理1) 空手道部
第27回関東学生空手道体重別選手権大会 女子68kg超級 優勝
- 上野 亨樹 (現代応用経済1) 卓球部
2017 サフィール国際オープン 日本代表
- 中畑 澄玲 (法律1) アイススケート部
French Cup 2017 International Synchronized Skating Competition 日本代表 (シンクロナイズド・スケート競技)
- 大塚 祥平 (経営4) 陸上競技部
第93回東京箱根間往復大学駅伝競走 5区 区間賞
- 吉岡 雅和 (市場戦略4) サッカー部
Jリーグ日本カップ2016 第90回 関東大学サッカーリーグ戦 ベストイレブン



中田茉那さん



吉岡雅和さん

学長賞受賞者のコメント

最短期間での博士号取得等による受賞

実行力は無限の財産

新井 知大

医療健康科学研究科
博士後期課程3年
国立研究開発法人
国立国際医療研究
センター病院



私はこれまで国際会議等で知り合った科学者は博士号を持たない者を冷遇する印象を受け、博士号の必然性を認識した。しかし、一定の収入を維持し、博士号を取得するのは困難を極めた。自己努力で解決できる、語学や専門知識は問題としなかったが、職場、家族の理解、研究に協力していただいた有識者らとの人間関係の構築はこれまでにない努力を要した。ヒトを励ます際に頻用される“やれば出来る”という句は当てにならず、“やらねば出来ない”。“やる”からには自己犠牲を伴い、逃げるか受け止めるかは自身の“覚悟”の問題である。

“業務は17時まで、自己教育は17時から...” 私が尊敬する諸兄の言葉である。

4月からは家族との時間も大切にしたい。

学業成績・研究業績による受賞

新規性・進歩性・有用性

千羽 敏史

経済学部
経済学科4年



この度は学長賞をいただき、大変光栄に思います。大学生活では常に挑み続けることを目標に、日々を過ごしてきました。

学問の面では、分からないことに挑み続ける楽しさと難しさを学びました。そして、経済学を学ぶうちに統計学の深みにはまっていきました。データ収集の大変さ、データクリーニングの果てしなさ、データの癖、統計手法の習得など、やればやるだけ課題が出てきました。壁にぶつかる度に、様々な先生にアドバイスをいただき、一歩ずつ進んできた結果、学長賞と奨学論文特選の受賞につながったと感じています。支えてくれた先生方や友人、そして家族に感謝の意を表します。4年間ありがとうございました。これから目標に向かって挑み続けたいです。

国際大会等での活躍による受賞

最高の学びへの感謝を

鬼倉 龍大

経済学部
経済学科4年
ボクシング部



ボクシング部に所属し、4年間仲間たちと切磋琢磨してきました。その日々は他ではきっと得ることのできない時間で、私を競技的にも人間的にも成長させてくれました。

3年生まで勝ったり負けたりを繰り返していましたが、4年生になり心を入れ替え、指導者の言葉を素直に取り込み、努力を続けることでリーグ戦を全勝し、日本代表として国際大会出場という目標を達成することができました。

最高の練習環境を整えてくださる中島総監督、的確な指導をしてくださる小山田監督、林田コーチ、本当にありがとうございました。

卒業後は新たな目標であるオリンピックに向けて再出発します。成長を止めず、目標のその瞬間まで駆け抜けていこうと思います。

学長奨励賞受賞団体のコメント

模範となる善行による受賞

被災した子どもたちのために

茶道部・参禅部

茶道部と参禅部は、米沢市の林泉寺・館山寺において開催されている、東日本大震災被災児童の教育支援活動に、初期メンバーのKPS有志の後を継いで参加しました。活動は、宿題の手伝いや、茶道、書道、陶芸など、文化活動の指導を行うもの。主催は「こども育成支援置賜学舎」（代表：石井清純仏教学部教授）です。

参加している子どもたちは、大学生に対し、保護者や先生に見せるのとは全く違った素直な反応を示し、楽しみ、「また来たい」と言って帰っていきます。子どもたちには、お兄さんお姉さんたちの見守りが、大きな癒しとなっている



林泉寺における「夏休み寺子屋」を終えて

ようです。

この活動に、手弁当で参加してくれた学生たちに奨励賞をいただいたこと、心より感謝申し上げます。

(参禅部顧問 石井 清純)

卒業生・修了生の皆さんへお知らせ

卒業証明書、成績証明書等の申し込み

窓口申し込み、郵送申し込みの2つの方法があります(電話・FAX・Eメール等による申し込みは受け付けません)。

【窓口申し込み】

公的機関発行の身分を証明するもの(運転免許証・パスポート・健康保険証・住民票等)を持参のうえ、直接来校してください(教務部①~③番窓口)。

【郵送申し込み】

以下の4点を封書で郵送してください。

● 公的機関発行の身分証明書の写し

● 必要事項記載用紙

- ① 氏名(卒業時氏名・フリガナ併記。英文証明書希望者は欧文氏名も併記してください)
- ② 生年月日
- ③ 入学年月・卒業年月
- ④ 学部・学科・専攻
- ⑤ 学生番号
- ⑥ フレックスA・Bの別
- ⑦ 卒業時の本籍地(都道府県名)
- ⑧ 証明書種類・必要部数(厳封の要・不要を記入してください)
- ⑨ 使用目的・提出先
- ⑩ 連絡先(住所・電話番号・日中連絡のつく電話番号も併記)
※任意の書式可。また本学ホームページより専用フォームのダウンロードも可能です。

駒澤大学ホームページ

→ 同窓生の方 → 各種証明書について

● 証明書発行手数料(切手)

1通300円
(英文による証明書は1通600円)

● 返信用封筒

長形3号封筒 23.5×12cm
宛先明記・送料分の切手貼付

【申し込み先】

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1

駒澤大学教務部 証明書係

TEL: 03-3418-9121

なお、夏季・冬季休業中、および学校行事等で事務取り扱い日・時間が変わることがあります。お問い合わせください。

卒業アルバムを購入された方へ

ご卒業おめでとうございます。

卒業アルバムは6月下旬から随時お届けを予定しています。

予定を大幅に過ぎても卒業アルバムが届かない場合、または住所が変更となった場合、その他ご相談がある場合は下記までご連絡ください。

【問い合わせ先】

学生部学生課(学生部①窓口)

TEL: 03-3418-9064

卒業後の図書館利用について

卒業後も図書館のご利用ができます。来館の際は、1階カウンターで、身分を証明するもの(運転免許証・健康保険証等)を提示し、所定の「図書館利用願」に記入して、館内利用の手続きを行ってください。

貸出が受けられる貸出登録手続き(有料)等の詳細は、図書館ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】

図書館情報サービス係

TEL: 03-3418-9165

reference@komazawa-u.ac.jp

駒澤大学ホームページ

→ 図書館 → 利用案内 → 卒業生の方

KOMAnet IDの削除について

卒業生および修了生の方のユーザIDは、3月31日をもって削除されます。

これに伴い、個人データはメールも含めすべて削除されますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】

総合情報センター

itc@komazawa-u.ac.jp

同窓会について

- 卒業後の同窓会からの連絡
 - ・「同窓会だより」(年1回発行)
 - ・ホームカミングデーご案内(大学から発送)
 - ・各支部からの総会・懇親会・その他行事のお知らせ

- 卒業時、親元を連絡先に登録されている方は住所変更をお願いします。

ホームカミングデー案内等すべて登録の住所地に送られます。毎年転居先不明で多くの返送が生じています。

- ミニ同窓会、サークルOB・OG会など開催の際は、記念品(タオル・会報誌)を提供しますので、ご連絡ください。

- 平成29年度ホームカミングデー開催日程は9月発行の同窓会だよりで詳細をお知らせします。



【問い合わせ先】

同窓会事務局

TEL: 03-3418-9188・9189

FAX: 03-3418-9190

komazawa-dosokai@komazawa-u.ac.jp

https://www.komazawa-u.ac.jp/alumni/

SNSやPRサイトからも駒澤大学の“今”を発信しています。
これからも、いつでも遊びに来てください。



駒澤大学ホームページ
www.komazawa-u.ac.jp/



Twitter
@komazawa_univer



Facebook
www.facebook.com/komazawa.university



YouTube
www.youtube.com/user/komazawauniv

駒大PLUS+

www.komazawa-u.ac.jp/plus/



“駒澤大学を楽しもう”をコンセプトに、教育研究やフォトギャラリー、卒業生の活躍、仏教行事等を紹介するPRサイトです。

写真で振り返る駒澤大学の歴史や校歌なども掲載しています。

ラボ駅伝

www.komazawa-u.ac.jp/plus/topics/lab-ekiden/



「ラボ」はラボラトリー(laboratory)の略で、研究室という意味を持ちます。駒澤大学で行われている研究を駅伝競走になぞらえ、リレー形式で紹介する連載メディアです。創造的でユニークな研究を通して見える「駒大の魅力」をお伝えします。

検索 駒澤大学を楽しむなら「駒大プラス」・「ラボ駅伝」で検索!